

# おれんげニュース

No. 233

2009年8月号

★集会・委員会・行事関係のお知らせ★

★山行の一步は会合から★

	8月			9月		
運営委員会	11日(火)	19:30~22:00	西諫早公民館	8日(火)	19:30~22:00	西諫早公民館
ひまわり集会	7日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館	4日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	25日(火)	19:00~22:00	西諫早公民館	22日(火)	19:00~22:00	西諫早公民館



## 8月の山行計画

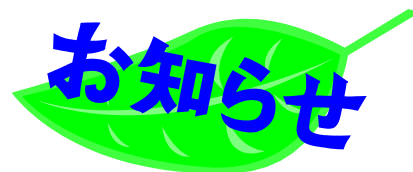
部	山行部	自然保護部	技術研修部
月 日	22(土)～23(日)	26(水)	29日(土)
山 名 (行事)	行藤山(830m) 比叡山(760m)	轟滝～烽火山	セルフレスキュー
地 図	祖母、大崩山地	高来・湯江	御館山にて
集合場所	JR 諫早駅裏 6:20 JR 西諫早駅 6:30	JR 西諫早駅 8:00	JR 西諫早駅 9:30
帰着時間	20:00 頃	17:00 頃	
歩行時間	1 日目 3.5 時間 2 日目 5.0 時間	5 時間	
難 易 度		易しい	
交通手段	マイクロバス	マイカー・歩行	
宿泊施設	鹿川キャンプ場バンガロー		
温 泉	あり	なし	
参加費	10,000 円		
申込期限		8/20	
集 約	松園朱実 26-6895	水江 美栄子 43-4947	
備 考			
感想提出	9/2	9/5	



## 9月の山行計画

部	技術研修部	自然保護部 ひまわり	山行部
月 日	12日(土)～ 13日(日)	23日(水)	27日(日)
山 名 (行事)	熊本脊梁山地 白鳥山(1639m) 時雨岳(1546m)	岩屋山(475m)	県北の山 白岳・不老山と 鷹島大橋見物
地 図	不土野	長崎西北部	
集合場所	JR 諫早駅裏 6:00 ----- JR 西諫早駅 6:10	JR 諫早駅発 7:57 ----- JR 西諫早駅 8:01	JR 諫早駅裏 6:20 ----- JR 西諫早駅 6:30
帰着時間		17:00 頃	19:00 頃
歩行時間			
難 易 度	初心者向き	初心者向き	初心者向き
交通手段	マイカー or マイク	列車	マイクロバス
宿泊施設		日帰り	日帰り
温 泉		有り	有り
参加費	1,2000 円	交通費	3,000 円
申込期限	満員になり次第	20日(月)まで	満員になり次第
集 約	米田テイ子 ----- 0957-26-0146	水江美栄子 43-4947 ----- 江崎幸子 26-4819	松園朱實 ----- 0957-26-6895
	ブナの原生林、御池のカルスト地形と話題豊富な山。	今回は上浦から山頂を目指します。 早咲きのダンギクにあえるかも・・・。	北松白岳(379m) 清々しい高原の雰囲気 を満喫できる尾根歩き 不老山(288m) 松浦潟の海岸美がみごとな家族ハイキングの山
感想提出	9/23	10/3	10/7

# 市民ハイキング教室実施要項



場 所：西諫早公民館  
時 間：19時30分開始  
参加費：800円

日 時	内 容	担 当
10月 7日(水)	会の紹介 山の楽しみ方と心構え	会長・副会長 自然保護部
10月 14日(水)	山の装備と使い方 トレーニング	事務局・組織部 ひまわり山行部
10月 21日(水)	地図の読み方 磁石の使い方	山行部 技術研修部



30周年にふさわしい、一段とレベルアップしたハイキング教室を目指しましょう。

## 霊峰 多良岳の山麓に集い“元気”を分かち合おう！

労山、九州ブロック協議会の2009年「元気の出る集会」は、9月5～6日大村市黒木にて開催されます。今年は長崎県連が主管であり、九州各県から労山の仲間が集まります。オレンジハイキングクラブからも「セルフレスキュー」「段ボール額縁作り」の指導を担当しています。多数の会員が参加して集会を盛り上げましょう。

### 集会内容

#### ◆ 9月5日（土）

13:00 開会

14:00～15:00 講演：吉野和記氏（久留米遊歩会）

『労山とは何か……これまでの経験を含めて』

15:20～17:00 分科会

- ① 「トレーニング&ストレッチ」 指導：富永正勝氏（東部勤労者山岳会）
- ② 「セルフレスキュー」 指導：川原慶紀氏（オレンジハイキングクラブ）
- ③ 「山でスケッチしよう」 講師：塩田幸助氏（カルチャー山の会）
- ④ 「フォト日本高山植物園・段ボール額縁作り」  
担当：坂口荘一氏（オレンジハイキングクラブ）

- 17:00～19:00 食事  
 19:00～21:00 講演：松本徂夫氏（山口大学名誉教授、秩父宮記念山岳賞受賞）  
 『ヒマラヤの東 カリニングルポ山群』  
 21:10～22:00 全体交流会

◆ 9月6日（日）

08:00～14:00 交流登山

- ①自然観察：黒木周辺 指導：宮崎正隆氏（諫早自然保護協会長、元諫早高校教諭）  
 ②岩登り：板川内  
 ③沢登り：ウナギテ沢（初級）  
 ④沢登り：小川内左俣（初級）  
 ⑤沢登り：小川内右俣（中級）  
 ⑥山登り：多良岳（初級）黒木～西野越～金泉寺～多良岳～金泉寺～黒木  
 ⑦山登り：経ヶ岳A（中級）黒木～八丁谷～中山越～経ヶ岳～つげ尾～黒木  
 ⑧山登り：経ヶ岳B（中級）黒木～舞岳～経ヶ岳～つげ尾～黒木

14:00～ 閉会式

参加費 1500円 日帰り300円（これは県連での参加費です）  
 （オレンジハイキングクラブは交通費その他交流会費を含めて後日別途決定します）

申し込み 分科会、交流登山、宿泊(施設かテントか)の希望と共に、8月2日までに事務局  
 兵庫(26-0470)へお申し込み下さい（一次締切り）。  
 （最終締切りは8月23日ですが、県連の集約の都合上、早めの申し込みをお願いします）



## 6月・7月の山行報告

### 6月10日（日） 大根地山（652m）とチベット展

〈参加者〉 川原 福岡 松尾 松本 佐原 江崎 田中ひ 本秀  
 金丸 林田 高橋 山口い 森 中村か 松園  
 こもればより2名 計17名



〈感想〉

昨日、梅雨入りしたばかりの九州 やはり今日も雨。

今日の山行は、福岡大根地山と九州国立博物館で開催中のチベット展を見ることの二本立てである。

バスが行ける所まで入ってもらい、そこから歩き始める。雨衣で体は汗ばんでいるのだが、山の中はひんやりしていて心地良い。一時間ほどで頂上へ。筑紫平野、耳納連山

が一望できるとのキャッチフレーズだったが全然見えない。

誰かが山法師の大樹を見つける。花びらが大きく見応えがある。少し離れた所には普通サイズの花が、こちらは大樹。二樹とも我々を待っていたかの様に満開。

帰りは荒熊稲荷神社へ参拝。ここにも山法師。赤い鳥居と山法師の白が靄の中で絶妙なコントラストで浮かび上がる。足元には沢ガニが我々の足音に慌てて逃げるのを踏み付けられない様にと気遣い、専ら林道を下る。滝岩自然の家の庇を借りて昼食。

お迎えのバスで大宰府みかさの湯へ。

さて、チベット展、地上四千メートルの聖なる地チベット。天空に聳えるポタラ宮とチベット密教の至宝を一堂に展示。

繊細できらびやか、まばゆいばかりの品ばかり。二時間の自由時間だったが、一日居ても足りないという人、一時間で持て余し館内の一流ホテルの喫茶店で過ごした人とそれぞれ鑑賞の仕方があった様だ。

名前しか知らなかったチベットを一寸だけ覗けた幸せな一日でした。

ありがとうございました。

(山口イツ子 記)

## 6月19日(金) 本明川流域散策

〈参加者〉 小山 平 中尾 松園 中村(か) 江崎 佐原 田中(紘) 水江 川内  
松尾(敏) 岩永(幸) 佐藤 会員外2名 計15名

〈行程〉 9:17 県営バス諫早駅前→本野入り口(バス停)→二野ヶ倉→円能寺→木場  
→平時蒔き→13:00 富川溪谷→二股(山口バス停)→農協本野出張所(解散)  
→14:50 ごろ県営バス諫早駅前

〈感想〉

当初の予定は、9:00 諫早駅(集合・出発)から本明川沿いを散策し、本野入り口からの道を歩こうという計画であったが、急にバスで本野入り口まで行こうということになり、9:17 発富川行きの県営バスで出発、「本野入り口」のバス停で下車、JR大村線の線路を渡ると直ぐ左手のコンクリートの坂道が、我々が予定している散策のための入り口(道路)であった。



当日の天気予報は曇りということであったが、天気予報に反し雲一つもないぐらいの天気、太陽が照りつける中を汗をふきふき富川溪谷を目指し「ホーホケキョ、ホーホケキョ」と鶯の鳴き声を聞きながら歩きます。

途中道脇に点在する墓地、いずれの墓石も高額なものばかり、この地域の人達は先祖を敬う気持ちの方が多いのだなと感心しながら、また、松尾さんのウイットに富んだ話を聞き、笑いながら

登り下りの道を歩いているうちに富川溪谷まで1.9 kmという標識を左手の方に、右手のほうには田植えが済んだ棚田、なんと表現してよいのか分からない景観を眺めながら歩いているうちに12:05 ごろ富川溪谷に到着、「かつらの木」の近くで弁当を食べようかという人もいたが、一足先を歩いてた松園さんから「ここがいい場所よ。」との声を聞き松園さん推奨の場所へ、そこは紫陽花が咲き誇っている場所の近くであり、その紫陽花を眺めながら弁当をたべる。汗が出てほてっている体をそよ風がひんやりと冷やしてくれ、大変気持ちのよい一時で

あった。

13:00 同所を出発し、二股を目指して歩きだす。途中約 20 分ぐらいは陰を慕って歩くことができたが、その後はまた照りつけるコンクリートの道を下りだす。13:50 ごろ「山口」というバス停に到着、バスを待ってる時間約 30 分、松尾さんの面白い話を笑いながら聞いている内にバスが来た。15 名がバスに乗り込んだところ、そのバスは貸し切りバスみたいなもの、途中「農協本野出張所前」のバス停で 6 名が本野温泉に入浴のために下車、御館山で缶ビールでも飲みながら反省会をしようということで「永昌町」バス停で 4 名が下車、残りの者は県営バス諫早駅まで、そこで「お疲れさまでした。」と最後の挨拶をして当日の行事に幕が下ろされた。

当日は、予想に反し日照りが強かったが、松尾さんの面白い話を聞き、笑いながらの散策、それでストレスの解消にもなった一日ではなかったかと感謝している。

(佐藤伯隆)

## 6月21日(日) 根子岳(1433m) 自主山行

<参加者> 川原 山下 田村 田中し 計4名

<感想>

川原さんに同行をお願いして、山下さんの運転で根子岳へ行って来ました。

梅雨空のなか、お天気を呼ぶ田村さんが一緒に、今日は田村パワーが勝ってる負けてるとか話しながら

ヤカタガ  
進み、左手  
ヤカタガウ  
ドに入りました。



らの楽しい車中でした。  
ウド登山口からコンクリート道にはいくつもの砂防堤をみながら、



涸谷は巨石、小石で両壁が迫り、滑りやすい

足元に注意しながら登りました。先行のパーティがだいぶ健闘している様子を見ながら、その後を川原さんの指導のもと、難なく通過。

休憩中の先行パーティにお先に失礼して竿河原

と呼ばれる所を、落石に注意しながら登り、一息入れていると、川原さんが「眼鏡岩がある」と言われたので、少し戻ってみると岩稜に穴が二つあいた眼鏡岩がありました。

急登が続き、天狗のコルと呼ばれるところへ出る途中、オオヤマレンゲと出会いました。あれほど沢山の花は初めてで、まさに「白い貴婦人」にふさわしいと感激しました。

アップダウンを繰り返しながら、そこから狭い尾根を行くとやっと東峰にたどり着きました。展望は雄大と聞いていましたが、全く視界がきかず残念。

頂上で昼食をとるけど寒いので早々に済ませ、もと来た道を下ることにしました。

今回の山行は岩場、くさり場、涸水滝登りと変化に富み、きつかったけど楽しかったです。たくさんのオオヤマレンゲを初めて見られたのもうれしかったです。

川原さん、同行して色々アドバイスしてくださり、有難うございました。山下さん、計画して長時間の運転でお疲れ様でした。

(田中静香 記)

6月28日（日） クリーンハイキング

### 少年自然の家～仏の辻～五家原岳

〈参加者〉 福岡 中野 林田 平 川内 鎗水 中尾 佐原 本秀 松尾 小山 下釜  
金丸 酒井 高橋 中村か 篠原 田中ひ 松園 水江 計20名

〈感想〉

9時に5台の車に分乗して西諫早駅を出発して、目的の仏の辻へ。

仏の辻グループ、県道グループの二手に分かれ、火ばさみ、ゴミ袋、を各自持って登って行く。

意外とゴミが少なく楽であった。登る人が少ないのか、マナーが良かったのか。 昼一寸前頃に五家原岳へ到着。先に着いていた仏の辻グループのゴミと県道グループのを一まとめにして記念撮影。昼食。

私の苦手なへびに会うこともなく、雨も降らず無事に終わった。お風呂好きの四人は本野のお風呂へ。 お疲れ様でした。

**むせかえる緑の中に桃色の一際目立ち合歓の花咲く**

**うぐいすのさえざり聞きつつクリーンハイク梅雨の合間の晴れし一日**

(水江美栄子 記)



7月5日（日） 右田ヶ岳

〈参加者〉 1班：篠原、中村か、江崎、岩永、田中弘、中尾、金丸、下釜、高橋、佐原、田村、松尾  
2班：兵庫、田中静、山口い、川原、川内、坂本三、酒井、佐藤伯、本秀、中須賀  
こもれび(宇野、石倉) 計24名

〈感想〉

梅雨時で心配した雨も降らず、予定よりやゝ遅れ JR 西諫早駅前を午前6時12分出発。

フリーダムの野崎さんうんてんのバスで一路山口県防府市の右田ヶ岳へと向かう。

彼杵インターで、こもれびの2名を拾って一行24名を乗せ先へと進む。

経費節約の為 ETC を有効利用し、先へと快調に走る。金立と門司の布刈インターで小休止



し、先へと走る。右田小学校前に到着、下車した途端雨が降り出し、雨具の装着をするも、直ぐ降り止んだ。これは皆様の日頃の行いが良いからと思われました。？

近くの天徳寺境内で、川原さんの指導よろしくストレッチを済ませ、1班から遥か上に見える岩峰(右田ヶ岳)を目指し、狭い登りの山道を進む。

巨岩に観音像が彫られ祭ってあった。第3番円光観世音、第16番青頭観世音、第18番徳王観世音などが記憶に残った位であるが、沢山の観世音様が巨岩に刻んであった。

汗だくになり頂上へ進む途中数人の登山者が下って来られ道を空け先へ進む。

右田ヶ岳西峰には出城があったとのこと。そこから南西側に玉泉湖など平地が一望出来、難攻不落の山城であった昔が偲ばれた。そこから北東に本丸跡である右田ヶ岳426mに至る。

同所で集合写真撮影後下山の途に就く。下りも岩場が少々あったが全員無事下山、近場の温泉で汗を流し一路帰路につき、歓談の内午後8時30分諫早到着。今回時計回りでしたが、次には逆回りで再度行って見たいと思いました。皆様お疲れ様でした。

(松尾敏晴 記)



## 最近の山の事故

### 富士山の落石:富士吉田市、山梨側の登山道調査――きょう /山梨

7月15日13時2分配信 [毎日新聞](#)

静岡県富士宮市の富士山新5合目で13日夜、落石で男性1人が死亡した事故を受け、富士吉田市は15日、緊急に山梨県側の登下山道調査を行う。

同市の職員が山頂まで登り、岩盤がひさし状にせり出している久須志岳の岩石の状況や、下山道の浮石の状況などを改めて調べ、崩落の危険がないかを調べる。

山梨県側では80年8月、久須志岳の岩が、当時の下山道だった通称「砂走り」を崩落。死者12人、負傷者31人の大惨事を引き起こした。【田上昇】

### ハイキング中の6歳児滑落死 - 国内

7月12日(日)14時50分～13日(月)11時55分

#### ハイキング中の6歳児滑落死、救助試みた男性も

12日午前10時半頃、山形県上市市蔵王の仙人沢でハイキング中の同市北町、会社員前田浩一さん(44)の長男大輝(ひろき)ちゃん(6)が登山道から足を踏み外して約50メートル下の沢に転落し、助けようとした同所、無職木村芳弘さん(54)も滑落した。(読売新聞)

# 思い出の記



## 大山登山

西諫早を坂口さんの車に4名 鎌水さんの車に4名で出発。

高速道路走行中は何もし高速道路をおり一般道になってからは鎌水車のカーナビと松園さんの地図ナビの戦いのおかげで楽しい車内であった。大山が見える。でも雪は無し。残念である。しかし裏は雪が感動した。宿からの眺め素晴らしい。

明日の雪山訓練は明後日に変更。明日は大山登山になった。登りますよ。就寝。

## 登山日

天候晴れ宿より登山口まで工事用ヘルメット持参仕事にでかけるようだ昔を思いだすね、8人それぞれの思いで登りだす。旭日旗マーク付けた御婦人が足取り軽く追い抜いて行くなれたものである。そのうちに追い越すさ？残雪ではこの日のために買った10本爪アイゼンを楽しんだり、風景、登山下山者を見たり勿論挨拶はしましたよ。あ 旭日旗降りてくる。「さっきはどうも」「もう少しですから頑張ってくださいね」「ハイ」「ではおさきにねー」。まいりました。体力、気力、雪と共にさりぬ : 耳を澄ませば歌が 負けないでもう少し “” “” 1歩進んで2歩下がらないで3歩進む、山頂の人たちの中にオレンジの6人腰掛けて手を振っている、俺と中須賀さん合わせて8名万歳。写真をとっていただいたお嬢さんとお話でもと。皆がさっさと下山、しかたなくバイバイする残念！下山は北流の大御所と俺は西流見習いで。がんばりました。自分えのご褒美ビールのうまさ。おわかりいただけますよね。100%？

## 雪山訓練

大山登頂目的達成のためか気合いが今三である。天より「しっかり頑張って、自分のため皆のため、技術習得に励め」ありがたい将軍様のお言葉、ヘルメットの顎紐締め雪になめられながら何回となくチャレンジしましたが、技及ばず。今後も訓練に励みます。

このようにして、俺と将軍様の1日は終わりをつけた。

## 石見銀山

世界遺産を見てから、また住み良い諫早へ帰り着きました。皆さんお疲れさまでした。楽しい日々を過ごさせていただきました。

( 篠原弘二 )



ある日  
あの山

富川溪谷 あじさい通り



右田ヶ岳山頂にて



クリーンハイク



大根地山

